



宮古島・平良港（漲水地区）は島民の生活物資輸送の受け皿を担う中心港湾施設です。しかし、冬季北西風が強いときには大型 R O R O 船が接岸できないこともあり、かねてから冬季でも安全に着離岸できるバースへの改良が望まれていました。

このたび国の予算化が認められ複合一貫輸送ターミナル建設に向けた事業が開始されるに至り、現地で起工式が挙行されました。井上名誉教授はこれに先立ち2011年4月14日に、[平良港を現地視察](#)し学術面から操船の安全評価を行った経緯もあって、この起工式に招待されることになりました。

起工式では、内閣府沖縄総合事務局平良港湾事務所の知花所長、平良港港湾管理者の下地宮古島市長の挨拶などが行われ、内閣府政務官、港湾局参事官など来賓による鍬入れ式が行われました。



受付



△会場



起工式典





鍬入れ式